

第94回日本細菌学会総会

総会長 松下 治 (岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授)

令和2年3月23日(火)～25日(木) オンライン開催

シンポジウム・ワークショップ企画の公募について

第94回日本細菌学会総会のシンポジウム・ワークショップの企画提案を以下の要領で公募いたします。第94回総会におきましても、多数の一般公募企画を取り上げる予定です。既に決定している6つの総会長企画(資料1を参照)とは重複がないようにご配慮の上、細菌学の広い分野からの企画を奮ってご応募下さい。なお、学会企画(「中・高校生の研究発表セッション」)・総会長企画を除く、全ての公募企画については同一人物がコンビーナを複数企画で担当することはできません。必ずコンビーナ/オーガナイザーは1企画のみでご担当になるように調整して申請して下さい。また、今回の総会は新型コロナウイルス対策として、オンライン形式での学会となります。シンポジウム/ワークショップ(選抜ワークショップを含む)はZoomウェビナーを用いたリアルタイム口頭発表形式(4チャンネル:1000名x1チャンネル, 500名x3チャンネル)となります点もご了承下さい。会議実施の詳細につきましては、企画採択時に事務局よりお知らせ致します。

公募企画の種類

【シンポジウム・ワークショップ】

依頼講演からなる1テーマ2時間30分のシンポジウム企画枠を12枠、1テーマ2時間のワークショップ企画枠を18枠、また今回初めての試みですがイブニングセッション企画枠を8枠(23日と24日)を設定致しました。イブニングセッション枠(19:00~21:00)については、時差のある海外からの講演者も参加できますので、企画提案にご活用頂けたらと思います。なおこの企画枠の中には、公募企画以外に、総会長企画7枠(「細菌学若手コロッセウム」のみイブニングセッション枠2つ)、学会企画として「中・高校生研究発表セッション」1枠、また例年のようにシンポジウム等企画調整委員会が一般演題から選抜した演者によるワークショップ(4枠程)も含めておりますので、予めご了承ください。

企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム等企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビーナ(提案者)にお知らせいたします。なお、他学会との共催や共同企画の場合は、審議時に優先性を考慮させて頂きたいと考えております。採択された企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、総会長もしくはシンポジウム等企画調整委員会から調整・変更等をお願いする場合がありますことをご理解ください。

応募方法

下記事項をご記入のうえ，日本細菌学会事務局までE-mail (gakkai23@kokuhoken.or.jp) にてご提案ください。

- 1) 企画タイトルと研究領域区分（資料1を参照のこと）・キーワード
- 2) コンビナーの氏名・学会員番号・所属・連絡先（メールアドレスも必須）
- 3) 概要（400字以内）
- 4) 想定演者（案）の氏名・所属
- 5) 想定聴衆数とイブニングセッション枠の利用の可否（都合により，チャンネルやシンポジウム枠/ワークショップ枠の割り当てがご希望通りとはならない可能性がございますが，ご了承下さい）
- 6) 応募される内容については資料1を参考にして下さい。

提案締切 2020年9月30日（水）

(資料1)

第94回日本細菌学会総会の学術企画の提案に際して

(1) 総会長企画としまして、「細菌学研究者の生存戦略を探る -実践と支援-」のテーマの下、細菌学研究に取り組む若手への様々な支援や提案、また学術活動の振興を目指した以下の企画を開催することが決定しています。シンポジウム/WSの提案に際しまして、重複のないようにご配慮下さい。

1. 留学が私の研究に与えたインパクト (留学先紹介を含む)
2. 研究テーマ 一着眼と展開一
3. 臨床細菌学・感染症医との協働
4. 異分野融合研究の推進
5. 産業化を組み込む生存戦略
6. 細菌学若手コロッセウム*

(*本総会における総会長特別企画として)

(2) また本年度の総会におきましては総会長のご提案により、研究領域区分をこれまでと異なり、以下のように改定しております。学術企画を考える上で、ご参考にして頂けますようお願い申し上げます。

1. 微生物の分類
2. 微生物の生態
3. 微生物の構造・生理 <細胞レベルの研究>
4. 微生物の分子論 <遺伝子、RNA、タンパク質、小分子、ポリマーなど、分子レベルの研究>
5. 病原体と感染症 (疫学を含む)
6. 病原因子と生体防御
7. 抗菌性物質と薬剤耐性
8. 微生物の応用